

## イラクへの軍事行動を中止し、国連による平和的解決を求める決議

大量破壊兵器を隠し持っている疑惑があると言われる今回のイラク問題では、国連査察団への非協力や妨害を続けるなどして、過去 12 年間に計 17 本の国連決議を不履行としてきた。一方では、国連監視検証査察委員会ブリクス委員長は、イラクはスプーン一杯分で約 200 万人の殺傷能力がある炭疽菌を約 1 万リットル保有しているとも報告する中、査察を止めるべきではないとも述べ（18 日）、戦争に突き進む米国を批判した。自らが提出した「決議」が通らないからといって「決議」を撤回し、今度は武力行使では筋が通らない。

連日のように、世界各地で、大規模な米英のイラク攻撃に反対するデモや集会が行われている中、ブッシュ大統領の行為は、国際ルールを無視する大国の身勝手な行動と受け取られるであろう。国際社会及び 1,000 万人を超える世論はイラクへの武力行使を支持していないのである。

米英軍が始めたこの戦争は、国連憲章と国際法にも根拠をもたず、無法な先制攻撃であり、核戦争につながるおそれがある。空爆で犠牲になるのは何の罪もない子どもたちである。戦争に未来はない。核戦争は地球、全ての生命を破壊する。

米英軍は直ちにイラクへの軍事行動を中止し、国連による平和的解決への道に従わなくてはならない。日本政府は、憲法 9 条に基づきあくまでも平和的解決への努力を継続することである。そして、「非核都市宣言」「平和条例」を制定した三鷹市は、武力によらない平和的解決に全力を尽くすものである。

上記、決議する。

平成 15 年 3 月 20 日

三 鷹 市 議 会